

## オーストラリアへの海外語学研修

令和6年9月11日

英語能力と国際的コミュニケーション能力を高め、異文化に触れ理解を深めることを目的とし、尼崎市が支援して行うオーストラリアへの海外語学研修に、本校から2名の生徒が参加しました。2年生の山中きいさん、3年生の蘭野柊太くんです。市立尼崎高校の8名の生徒と合わせて10人が参加した研修を2人の許可を得て皆で共有したいと思います。少し、長いですが最後まで読んで、皆さんも研修の一部を模擬体験しましょう。

行き先はオーストラリア東側の都市、ブリスベン。どこにあるか知っていますか？右の地図を参考にしてください。

日程は8月7日～16日の10日間です。現地では受け入れてくれた家庭でホームステイし、ウィズダムカレッジ (Wisdom College) で授業を受けました。



8月8日に現地に到着すると、現地でお世話になるビアンカ先生が空港に迎えに来てくれました。これがその時の写真です。ビアンカ先生は真ん中の人です。



到着した日の午後、早速、博物館巡り、そして、ローンパイン・コアラサンクチュアリーというコアラの保護区に行き、オーストラリア特有の動物を見て回りました。コアラは顔を隠していますが、真ん中のカンガルーは貫禄がありますね。右は黒ヤギさんと白ヤギさんです。



そして、8月9日からは授業開始。このように、横並びで授業を受けると、コミュニケーションがとりやすいかもしれませんね。最初は発言が少なかったものの、だんだんと英語で会話が弾んでいったそうです。

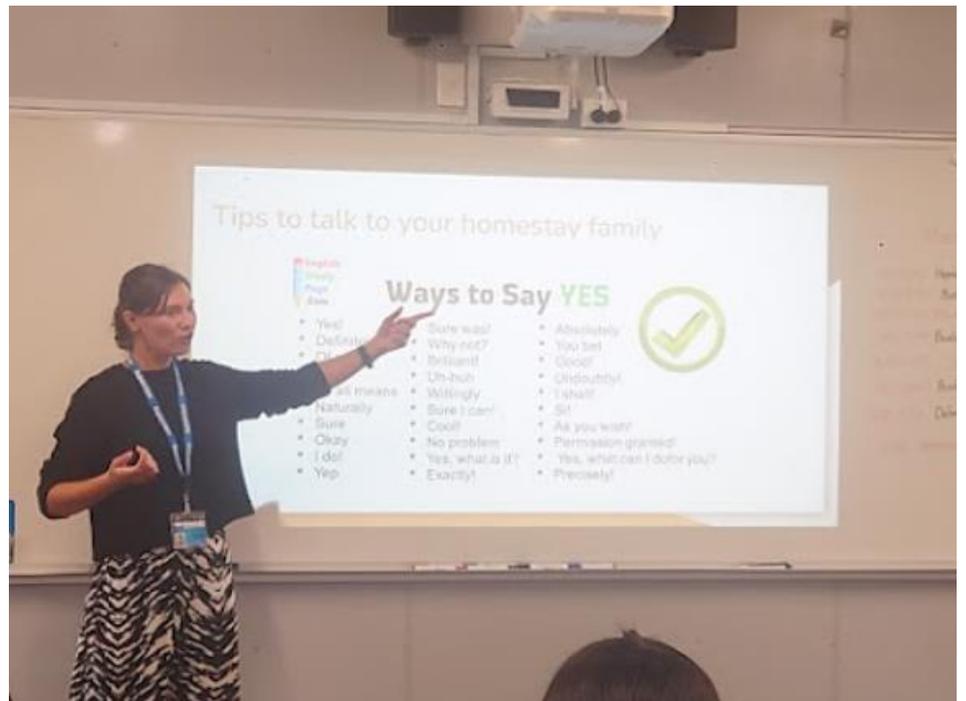


8月12日には、は現地の高校で授業を受けました。1人ずつに現地の高校生が1人ずつついてくれサポートしてくれたとのこと。このペアをバディ (buddy) と言い、授業にも連れて行ってもらいました。



授業の方も、だんだんと英語を話すことに抵抗がなくなり、話すことへの意気込みが感じられるようになってきました。ホストファミリーとも会話が弾むようになっていったのではないのでしょうか。

これはビアンカ先生の講義ですね。



「演劇」「美術」「数学」「理科」「保健体育」「コンピューター」などの授業にも参加しました。

体育では一緒に身体を動かし、美術ではアボリジニのペインティング手法を体験しました。

蘭野くんは体育が楽しかったと言っていました。

また、学んだことを発表する機会も多くありました。やはり、インプットとアウトプットを繰り返すことが大事ですね。「オーストラリアの環境」と「オーストラリアの動物」について学び、考えたことを班別にプレゼンテーションもしました。



学校の休日には、グリフィス大学への訪問とサーファーズパラダイスの散策に行ってきました。記念写真をして、その後、ショッピングモール等で過ごしました。





こうした行程の中で、今回の目的である、英語およびコミュニケーション能力向上と異文化理解を深める経験をたくさん積み、最後にはお別れパーティーも開かれました。会話も弾んだことでしょうね。



最後に、2人のメッセージを紹介します。

皆さんも、こらからの時代、海外に出かけたり、そこで住むことになったり、また、日本にいながら海外の方と交流することが増えてくると思います。日頃の英語学習にしっかりと取り組み、また、異文化を理解しようとする姿勢を持ってください。同時に、自分自身について理解し表現できること、自国の文化への理解を深めることも大事なことです。

そして、いずれ、行ってみたい国に旅してみてくださいね。

#### 蘭野くんより

語学力をつけることはもちろん大事です。しかし、それ以上に、言いたいことを伝えようとする気持ち、相手のことを理解しようとする気持ちが大事だと感じました。言葉がもし通じなくても、その気持ちがあれば、思いを伝えることができることを今回の研修で学びました。

#### 山中さんより

初めての人との会話でも、自分の言葉に自信を持つことが大事だと思います。自分が伝えたいことを一生懸命伝えようとする気持ちです。「うまく話せない」「英語が苦手だ」と思わず、そのような気持ちを乗り越え、頑張って話そうとすることが大切だと分かりました。



皆さん、お疲れさまでした。これからの活躍を祈ります。